

## (専門分野)

授業科目	臨床看護技術演習	講師	教員	実務経験	単位数
				○	1
学習目標	1.複合的な条件の事例を予測性・個別性をもってアセスメントし、実践できる能力を習得する。 2.卒業時の技術到達度をふまえて、自己の看護技術の達成状況と課題を明確にする。				時間数
					30
					学年
					3
					時期 第2学期
回数	主 題	学 習 内 容		授業方法	講師
1～3	複合事例の症状のアセスメント	1.臨床推論の展開 1)臨床推論とは 2)臨床推論の方法 2.複合事例展開の実際 1)疾患の理解 2)疾患看護・症状看護 3)アセスメント		講義 演習	教員
4～5	アセスメントに基づく看護の実施と複合した治療処置の必要な患者への援助の実際	1.事例に必要な治療・処置 (輸液ポンプ、シリンジポンプなどの医療機器の操作・管理を含む) 2.事例に必要な看護 3.事例の看護実践 4.自己の看護技術の到達度と課題の明確化		演習	
6～7		5.導尿の実際 1)膀胱留置カテーテルの挿入と管理		演習	
8～9	複数患者受持ち時の援助の優先度の決定とタイムマネジメント	1.複数患者を受持つために必要な情報収集 2.1日のスケジュールの立て方 3.多重課題と優先度の決定 1)多重課題とは 2)優先度の判断基準		講義 演習	
10～12		4.複数受け持ち患者の行動計画の立案 5.複数患者の事例展開 1)優先度の決定 2)援助計画とタイムスケジュール 3)事例の看護実践		講義 演習	
13～14	看護チームの一員としてのメンバーシップ行動	1.リーダーシップとメンバーシップ 2.チームワークとコミュニケーション 3.突発的な事態への対処 1)アセスメント 2)援助計画の立案 3)事例の看護実践		講義 演習	

15	評価	単位認定試験 (45分) まとめ	
評価 方法	筆記試験 50点 課題 50点	テキ スト	なし